

つながる医療



耳鼻いんこう科 診療部長

よし おか まり こ
吉岡 真理子 医師

浜松医科大学卒業

●所属学会・資格/日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医、耳鼻咽喉科臨床学会

耳鼻いんこう科

**睡眠時無呼吸症候群—
ワイヤレスのポリソムノグラフィ(PSG)の導入、
歯科口腔外科との連携治療など
増加する患者さまに検査から治療まで
幅広く対応する体制を整えています。**

近年、社会的認知度が高まってきた睡眠時無呼吸症候群は、国内有病者数が300万人とも言われています。

疾患の概要と当院における検査・治療について、耳鼻いんこう科診療部長の吉岡真理子医師に伺いました。

ポリソムノグラフィ(PSG)による精密検査



ワイヤレスタイプで、患者さまの移動を制限しません。モニターもベッドから離して設置できるため、夜間に明るさで睡眠を妨げないようにすることができ、従来の機器と比べ患者さまの負担が低減されます。

PSGの測定項目は、脳波、筋電図など多項目にわたります。検査は、一泊入院で実施します。(写真2)。

当院のPSGは、ワイヤレスタイプの機器を使用しており、患者さんへの負担が少ないのが特徴です。

- ①生活習慣の改善
- ②CPAP(図4)
- ③マウスピース(写真3)
- ④手術

①減量したり、飲酒や薬の服用習慣を見直したり、側臥位で眠っていただくようにおすすめします。ストレスや過労を避けていただくことも大切です。

②CPAPは重症SASの方に使用いただきます。鼻にマスク状の器械を装着し、加圧して空気の通りを広げる治療です。月1回の通院が必要です。

③マウスピースは顎の小さい方に向いています。口腔内に器具をつけ、舌の落ち込みをふせぎます。当院歯科口腔外科との連携にて対応させていただきます。

④手術治療としては、主に扁桃やアデノイドを取り去る手術があげられます。当院では麻酔科の管理のもとに手術を行っています。

当院では、以前より実施している簡易検査に加えて、平成27年11月よりPSG検査を導入し、簡易型モニターで異常があった方の精密検査を行っています。また、内科や歯科口腔外科との連携により睡眠時無呼吸症候群の治療を行っています。検査・治療のどちらにおいてもお気軽にご紹介いただければ幸

詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

tel. **0586-26-2366** (直通) fax. **0586-24-9999**

tel.0586-72-1211(代表) ●受付時間:月～金8:30～19:00 土8:30～12:30 ※祝日、年末年始、4月3日除く